

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| 事故等番号       | 2010門第86号  |   |
| 事故等種類       | 乗揚   |   |
| 発生日時        | 平成22年5月14日 12時50分ごろ  |   |
| 発生場所        | 関門港若松区 福岡県北九州市若戸大橋橋梁灯（C1）から真方位246°<br>3,600m付近<br>（概位 北緯33°53.4′ 東経130°46.9′）  |   |
| 事故等調査の経過    | 平成22年6月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。  |   |
| 事実情報        |  |   |
| 船種船名、総トン数   | 引船兼作業船 <sup>てんぼうざん</sup> 天保山、19トン  |   |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 282-16018、株式会社トマック   |   |
| 乗組員等に関する情報  | 船長、一級小型船舶操縦士・特殊・特定   |   |
| 死傷者等        | なし   |   |
| 損傷          | プロペラ翼欠損及び曲損  |   |
| 事故等の経過      | 本船は、船長ほか1人が乗り組み、上架整備のため、船首約1.0m、船尾約2.5mの喫水で、関門港若松区第1区内の幅約50mの水路を航行中、平成22年5月14日12時50分ごろ、同水路の左側端付近の浅所に乗り揚げた。<br>その後本船は、自力で目的の造船所に着岸した。 |   |
| 気象・海象       | 気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 3<br>潮汐：下げ潮の中央期   |   |
| 分析          | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析  | あり<br>なし<br>なし<br>本船は、関門港若松区第1区内の水路を航行中、水路の左側端に接近し過ぎたものと考えられる。<br>船長は、若松区第1区内の水路の左側に浅所があることを知っていたものと考えられる。<br>船長は、水路航行中、右舷方の岸壁に係留船を視認し、同水路の左側寄りに航行しようとした可能性があると考えられる。 |
| 原因          | 本事故は、本船が、関門港若松区第1区内の水路を航行する際、水路の左側に接近し過ぎたため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。   |   |